

様式第 8 号(規格 A4)(第 8 条関係)

景観計画適合チェックシート

(開発行為・土地の形質の変更用)

景観形成基準				チェック欄
適用する景				
生活	みどり	うるおい	歴史	
基準の内容				
●	●			既存の地形の改変は最小限に留めるよう努めること。 □はい □いいえ □該当なし
●	●			大規模な法面及び擁壁を生じないようにし、やむを得ない場合は、緩やかな勾配とし、積極的な緑化に努めること。 □はい □いいえ □該当なし
●	●			擁壁は、周辺景観との調和に配慮し、前面の緑化、遮蔽樹林等による影響の軽減を行うこと。 □はい □いいえ □該当なし
●	●			敷地内にある良好な樹林、樹木、河川、水辺等を保全し、従前の近接性を保つとともに、積極的に活用すること。 □はい □いいえ □該当なし
●	●			周辺の道路等からの遮蔽に配慮した敷地周囲の緑化に努めること。 □はい □いいえ □該当なし
●	●			掘採又は採取後の法面等は、周辺景観との調和に配慮し、積極的な緑化に努めること。 □はい □いいえ □該当なし
		●		水辺に面する部分にオープンスペースを設けたり、緑化したりするなど、水辺に配慮した魅力的な空間づくりを行うよう努めること。 □はい □いいえ □該当なし
		●		河川、湖沼など、水辺に面する敷地においては、自然景観の季節の移り変わりを考慮し、木材、石材などの自然素材色と共通する色調を基調とするなど、配慮すること。 □はい □いいえ □該当なし
			●	歴史的景観の保全に配慮した配置とすること。 □はい □いいえ □該当なし
			●	歴史的景観を阻害しないよう、周辺と調和した高さとする。こと。 □はい □いいえ □該当なし
			●	歴史的景観を阻害しないよう、建物及び工作物の形態、意匠及び色彩に配慮すること。 □はい □いいえ □該当なし
(具体的な配慮事項・配慮できない理由)				※ (指導事項)